

# 令和3年度 日向・東臼杵支部活動報告

## 1 研究テーマ

「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」  
～主体的に課題解決に取り組むためのICTの活用を通して～

## 2 研究内容

月	行 事	内 容
4	○第1回支部理事会 (富島中学校)	・役員の決定、活動計画作成
6	○研究部会① (17日;富島中学校)	・チームズを活用した研究授業
9	○支部総会 (9日;富島中学校) ○研究部会② (15日;富島中学校)	・役割分担について、サイエンスコンクール審査等 (総会については紙面報告、審査は実施) ・理科の授業におけるICT活用の具体例
11	○支部研修会 (富島中学校)	・講師を招いてのICT研修(中止)
12	○研究部会③ (23日;富島中学校)	・デジタル顕微鏡・双眼実体顕微鏡の活用について
1	○第2回支部理事会 ○研究部会④ (17日;富島中学校)	・年間反省(第3回に延期) ・スカイメニューを活用した研究授業
3	○第3回支部理事会	・次年度の研究について

## 3 研究の実際

### (1) 研究部会①

チームズを活用して、パワーポイントで作成した課題を生徒のタブレットに配付し、陽イオンになる仕組みを考える授業。

### (2) 研究部会②

タブレットを活用した授業例の研修。

### (3) 研究部会③

デジタル顕微鏡・双眼実体顕微鏡の取り扱いと、授業で活用する方法。

### (4) 研究部会④

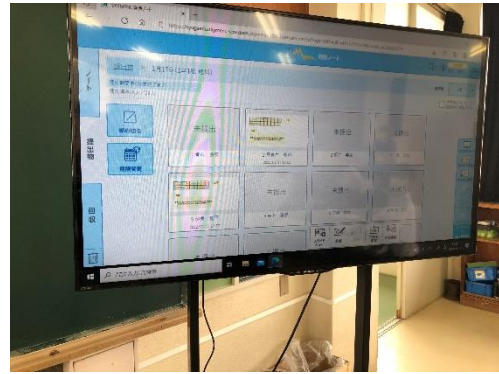
仮説や結果、考察を、スカイメニューを使って発表させる。また、カメラ機能を使ってフックの法則のばねののびのデータを保存し、後で見直せるようにする授業。



#### 4 研究の成果と今後の課題

##### (1) 成果

- チームズを使って課題を配付する事で、時間短縮になる。
- 一人一人にタブレットを操作させる事で、生徒は生き活きと主体的に学ぶ。
- 仮説や考察をスカイメニューを使って提出させる事で、他の意見を知り、より多くの見方、考え方を知る機会となった。
- 考察をスカイメニューを使って提出させる事で、一人一人が深く考えるようになった。
- グラフを書く際にもう一度記録したデータを確認していた。教師の意図した行動であった。



##### (2) 課題

- タブレットを使う事を目的とせず、研究テーマに有効になるよう使用したい。しかし、現段階では、まずは使用し、少しずつ有効性を確認していきたい。
- タブレットは一人1台ずつ使用する時と、班で1～2台使用するなど、授業によって変化させる必要がある。
- 実験の記録として動画をとり再生したり、データを後で見返せるように写真を撮ったり、実験の代用ではなく「理科ならではの」活用を探していきたい。